

北区の部屋だより

2010年11月

第16号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 22 年 11 月発行

北区こぼれ話 第15回

堀船は日本経済史の縮図

明治から現在まで、時代を象徴する工場が現れ、消えていった場所。それは堀船です。

明治の初め、堀船に現れたのはレンガ工場でした。堀船のレンガは、官庁や大工場、鉄道、洋館などに使用され、建築の近代化に貢献しました。しかし、関東大震災後、コンクリート建築が増え、レンガ工場は廃業していきました。

北区というと、王子製紙とともに、西ヶ原の鹿島紡績所も有名です。鹿島紡績所は、堺紡績所や鹿児島紡績所とともに「始祖三紡績」とされています。堀船にも、明治41年（1908）、下野紡績王子分工場が造られました。下野紡績は「十基紡」の一つです。「十基紡」とは、三重・佐賀・長崎・遠州など10の紡績会社のことです。

それらは、明治政府から輸入紡績機の払い下げを受けて発足しました。綿糸や生糸を売って、外貨をかせぎ、欧米から機械を買う。日本は、繊維の輸出によって近代化を進めようとした。後に、下野紡績は、三重紡績に吸収され、合併により東洋紡績になりました。東洋紡績・鐘淵紡績（カネボウ）・大日本紡績（ユニチカ）を三大紡と言います。大正12年（1923）の統計で、堀船の東洋紡王子工場には、約2300名が働いていました。

昭和16年（1941）、国家総動員体制の中で、東洋紡王子工場は陸軍に貸与されました。終戦までの間、東京第一陸軍造兵廠尾久工場という名で、兵器を生産したのです。戦後、工場は陸軍から東洋紡へ返還されました。しかし、紡績業に、戦前ほどの勢いは無くなっていました。

昭和28年、東洋紡は、王子工場をキリンビールに売却しました。このキリンビール東京工場は、昭和32年からビールの生産を開始しました。戦後復興を成し遂げた後、日本人の食生活は豊かになっていきました。家庭で、日常的にビールを飲むほどになったのです。家を訪ねてきたお客様にも、お茶とビールのどちらがよいかと聞く時代になりました。戦後、ビール会社の中で、キリンは売り上げ第一位の道を走り続けていました。しかし、昭和62年、アサヒビールがドライビールを発売すると、キリンの独走は終わりました。キリンは生産体制を再編成し、平成10年（1998）、東京工場は生産を停止しました。

そして、現在、その跡地には、読売新聞と日刊スポーツの工場があります。最新の機器を備えた新聞工場は、まさに、次々に新しい情報を生み出す現代社会のあり方を示しているようです。

このように、明治の「近代化の時代」にレンガや綿糸、昭和の「戦争の時代」に兵器、戦後の「豊かさの時代」にビール、平成の「情報の時代」に新聞と、それぞれの時代の性格を表すような製品が、堀船において生産されてきたのです。



船方神社の御輿倉は
レンガ造り



読売新聞東京北工場



【北区の部屋・地域資料専門員 黒川 徳男】



「北区の部屋」10～11 月期展示

歴史の中の遠足

会期:10月29日(金)～11月24日(水) 場所:北区の部屋

行楽シーズン真っ盛り。秋の楽しいイベントといえば小学校時代の遠足を思い出す人も多いのではないのでしょうか。今思い返せば、そんなに大層な場所に行ったわけはありませんが、普段の学校生活から離れた解放感もあって、妙にウキウキした気分になっていたのではないのでしょうか。さて、こうした「楽しい」遠足も、学校行事である以上はそこに明確な実施目的があります。それゆえに遠足の内容は、その当時の時代状況を色濃く反映していると言えるでしょう。

そこで今月の展示では「歴史の中の遠足」と題しまして、戦前から戦中期の遠足、ちょっと昔の遠足から昨今の遠足事情まで、北区の事例を題材に遠足の歴史を振り返ってみたいと思います。

今月の講演会

北区図書館活動区民の会企画・運営 北区立中央図書館主催

歴史講演会

明治43年の東京大水害 北区域の被害状況とその後の治水政策

日時:平成22年11月28日(日) 午後2時から4時

場所:北区立中央図書館 3階ホール

講師:領塚正浩氏(市川市立市川考古博物館 学芸員)

対象:中学生以上の方 定員:50名(抽選)

申込:往復はがきで11/10必着 ※申込方法は北区ニュース10/20号をご覧ください。電話 03-5993-1125



新着地域資料案内

一部です

タイトル	著者・発行
滝乃川学園・その歴史と現在	滝乃川学園
選挙の記録(平成22年7月11日執行)	北区選挙管理委員会事務局
《講演録》歴史的視野の中の澁沢榮一	澁沢榮一記念財団
東京観光ガイドマップ (ダイジェスト版)	北区地域振興部 産業振興課
消防に関する世論調査 成22年8月	東京消防企画調整部
東京下町散歩 2010	昭文社
この一冊で江戸と東京の地理がわかる	青春出版社
東京都工業指数年報 平成21年版	東京都総務局統計部

中央図書館「北区の部屋」では、このよ
うな資料を地域資料として収集していま
す。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和
の資料も地域を知るための大変貴重な資
料となりますので、ぜひ一報ください。

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！
皆さんの自宅に、北区
に関わる古い写真や地
図・文書などは眠ってい
ませんか？

北区の部屋だより

2010年12月

第17号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 Tel.03-5993-1125 平成 22 年 12 月発行

北区こぼれ話 第16回

江戸時代、北区の「師走」風景 ～金策の季節～

早いもので 2010 年も残りあとわずかとなってしまいました。皆さんも年末に向けて、さぞ忙しい日々を送られているものと思います。現在でも、毎年この時期はクリスマスプレゼントを用意したり、年末年始の準備を始めたりと、何かと出費が嵩みますが、これは江戸時代でも同じこと。「極月」とも表現される 12 月は、村の農民たちが何かと金策に走り回る慌ただしい季節でありました。

そもそも多くの場合、12 月は村で納める年貢の皆済の月に当たっていました。いく度かに分けて納めてきた年貢もこれが最終期限、持ち高の少ない農民は、有力な農民の元へと金策に走ります。村に残る金子借用証文などを見ても「御年貢に相詰り申し候に付き」と書かれているものも見受けられます。もし年貢が納められないことになったら村全体の責任になってしまいますので、これを避ける意味でも有力農民は金銭の融通に応じることが多かったと言います。

また、出費が嵩むのは何も村だけではありません。領主である旗本の家でも同様です。しかし、旗本家も財政的に豊かではないので、この時期「御賄金」や「御用金」といった名目で上納金を命じることがありました。

これを村で賄うためには、今度は名主をはじめとする村役人たちまでが金策に走り回るようになります。村の有力農民が立て替えられるほどの余裕があればいいのですが、そうでなければ他村へと金を借りに行かなければなりません。「御地頭所様御賄金仰せ付けられ候に付き」を理由に金子を借用する証文もあります。そうなんです、実は江戸時代の金子借用証文は、持ち高が少なく経営的に苦しい農民たちばかりではなく、村役人を務めるほどの有力な農民が作成したものも意外と多いのです。

こうした出費に加えて、各家々で賄う食糧品やその他年末の諸物品の代金などを払わなければならなかったのも、「極月」の出費は非常に大きなものとなってしまいました。現在、北区域の村々に残る古文書の中には数多くの金子借用証文や質地証文がありますが、実は「十二月」「極月」といった日付を持つものが半数以上に上っているのです。

持ち高の多い者も少ない者もみんながそれぞれ金策に走る、これが年の瀬、江戸時代の北区の風景といったら少し言いすぎでしょうか?!

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣孝幸】



北区の部屋 今月の展示

北区図書館活動区民の会 企画展示 「メディアに見る 明治43年の東京大水害」

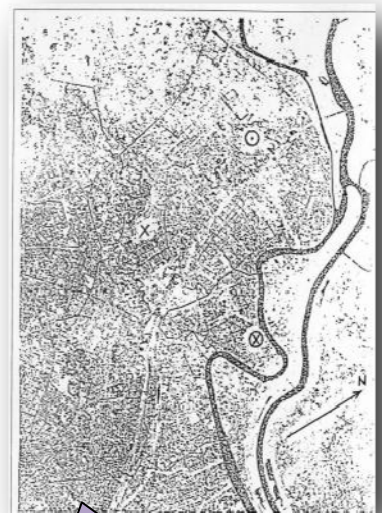
会期：11月26日（金）～12月28日（火）

今から100年前の明治43年(1910)、関東を大水害が襲いました。この水害については、当時撮影された写真などが数多く残されており、被害の状況や水害の恐ろしさを現在に伝えています。今月の展示では、荒川放水路（荒川）開削のきっかけともなったこの大水害について紹介します

10月30日（14時～16時）に中央図書館にて、北区の部屋・地域資料専門員でもある黒川徳男氏を講師に迎え、公開歴史講座「アメリカ軍がやってきたー占領下、王子区滝野川区の記録ー」が行われました。

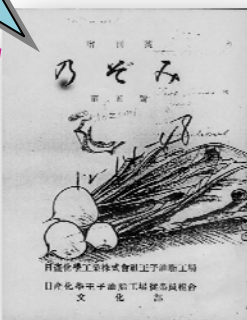
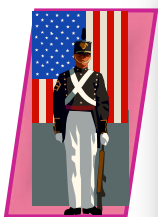
北区役所が保存している王子区役所文書、飛鳥山博物館所蔵の滝野川区役所文書、そして、日本の国会図書館が、アメリカ国立公文書館で撮影してきたGHQ文書などを用いて占領下の王子区や滝野川区の様子について紹介しました。あわせて、米国戦略爆撃調査団文書の中の北区への空襲についての部分を紹介し、米国の爆撃目標についても説明しました。

日産化学王子油脂工場従業員組合文化部発行の文芸誌『のぞみ』。
「GHQ 文書」のG2（情報機関）の書類中から発見。



1945年4月13・14日空襲の作戦任務報告書にある爆撃目標。赤羽・十条・豊島が目標だったが、被害は広い範囲に及んだ。

アメリカ国立公文書館所蔵「米国戦略爆撃調査団文書」（日本の国立国会図書館憲政資料室がマイクロフィルムにて公開）



参加者の方々の感想

- ・ 占領時の実際のくわしいことが良く分かった。
- ・ アメリカの資料保存がすごいと思った。
- ・ 王子キャンプの近くで生まれ育ったが歴史的なことは知らなかったので参加してよかった。
- ・ 高校時代を思い出した。地図局の前に米軍相手のクリーニング店が多くあった。

北区の部屋だより

2011年1月

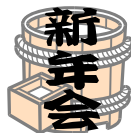
第18号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 Tel.03-5993-1125 平成 23 年 1 月発行

北区こぼれ話 第17回



お酒の大学
「醸造試験所」あれこれ



お正月と言えば、お屠蘇をはじめとして、何かとお酒の量が増えるシーズンです。北区で、お酒というと、滝野川の醸造試験所を思い出す方も少なくないでしょう。

醸造試験所といえば、日本酒の鑑評会や、若い杜氏さんたちが研修を受ける姿などが、テレビで取り上げられてきました。お酒を研究し、そして、学ぶという、お酒の大学のようなところでした。現在では、敷地の半分は公園になり、名前は独立行政法人酒類総合研究所東京事務所になっています（本部は広島市）。醸造試験所の設立は、明治37年（1904）のことでした。日露戦争が始まった年です。当然、設立のためには、敷地の選定から始めなければなりません。敷地選定委員に選ばれたのは、古在由直（東大教授・農学博士）、妻木頼黄（大蔵技師・工学博士）、若槻礼次郎（大蔵書記官）、高山甚太郎（工業試験所長・工学博士）、手島精一（東京高等工業学校長）の5名です。日本近代史や技術史上のビッグネームばかりです。



旧古河邸

中でも、古在由直は、東大総長や西ヶ原の農事試験場長も勤めた人物です。古在は、足尾鉬毒事件を調査し、農民被害の実情を隠さずに公表した硬骨漢でした。足尾銅山を運営していた古河市兵衛が住む古河邸と、古在が場長を務めた農事試験場は、本郷通りをはさんで目と鼻の先にありました。これは、何か因縁めいていて面白いと思います。また、妻木頼黄は、東京商業会議所や横浜正金銀行を設計し、明治を代表する建築家になります。そして、最も有名な若槻礼次郎は、醸造試験所長などを歴任し、大蔵官僚から政治家に転じ、総理大臣になります。

話ををもとに戻しましょう。

醸造試験所の敷地の条件は、次の通りでした。

- ①水質佳良にして、且つ豊富なること
- ②土地高燥にして排水に便なること
- ③運搬に便利なること
- ④建築に容易なること

そして、見つけたのが、滝野川でした。

- ①石神井川や千川上水が流れ、②土地は台地上にあり、③王子駅に近い、そして、④国有地（印刷局抄紙部附属敷地）と、まさに理想通りの場所だったのです。

なお、今も残る赤レンガの建て物は、ドイツのビール工場を参考にしたと言われています。そういえば、札幌のビール園にも似ています。



酒類総合研究所
（旧醸造試験所）



若槻礼次郎（『醸造試験所沿革誌』）



【北区の部屋・地域資料専門員 黒川徳男】

北区の部屋 今月の展示

1月展示 1月5日(水)～26日



レールが、線路に使われているのは当たり前です。しかし、19世紀の古いレールが、再利用され、跨線橋やホームの屋根になっているとしたら、面白いと思いませんか。区内の駅では、古いレールを曲げたり、組み合わせたりして、再利用していることがあるのです。

ほかにも、北区には、こんな古いものが今も…と思うような鉄道関係のものがたくさんあります。今回の展示では、そんな見過ごしがちな古いものをご紹介します。

北区鉄道考古学ことはじめ -駅にレールを探しに行こう!?-



北区立図書館 地域資料 貸出ベスト10!

北区立図書館の地域資料貸出回数の多かった図書ベスト10です。

2009年度

順位	利用回数	タイトル	著者名	出版社
1	100	東京生活 No. 30 特集：住人目線で歩く赤羽・王子		樫出版社
2	99	子どもとでかける東京あそび場ガイド 2009年版	子育てネット	メイツ出版
2	99	昭和30年・40年代の北区	三冬社	三冬社
4	92	北区史跡散歩<新版>	芦田 正次郎	学生社
5	84	都電荒川線で行く下町グルメ散歩		日本出版社
6	80	東京湧水せせらぎ散歩	高村 弘毅	丸善
7	66	東京ご利益スポット散策ガイド	酒井 茂之	明治書院
7	66	絶滅食堂で逢いましょう	なぎら 健壺	徳間書店
9	65	東京公園散歩	矢部 智子	ブルース・インターアクションズ
10	64	北区立郷土資料館シリーズ 12 続・北区の昔がたり	北区立郷土資料館	北区教育委員会

2010年上半期(1～9月)

順位	利用回数	タイトル	著者名	出版社
1	112	東京都北区赤羽 2	清野 とおる	B b m f マガジン
2	108	昭和30年・40年代の北区	三冬社	三冬社
3	106	東京都北区赤羽 1	清野 とおる	B b m f マガジン
4	73	都バスで行く東京散歩	加藤 佳一	洋泉社
5	56	東京都北区赤羽 4	清野 とおる	B b m f マガジン
6	53	東京生活 No. 30 特集：住人目線で歩く赤羽・王子		樫出版社
7	49	阿藤快の商店街ぶらり歩き		講談社ビーシー
8	48	子どもとでかける東京あそび場ガイド 2009年版	子育てネット	メイツ出版
9	43	東京都北区赤羽 3	清野 とおる	B b m f マガジン
10	42	北区史跡散歩<新版>	芦田 正次郎	学生社

北区の部屋だより

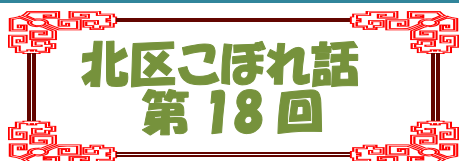
2011年2月

第19号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 23 年 2 月発行



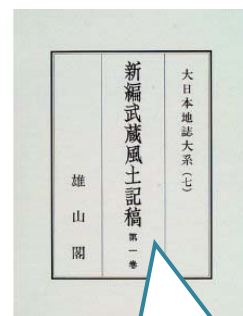
「地名」の雑学 その1

「北区の部屋」がオープンして2年半、意外と地名の表記に関する問い合わせが多いのに気付きます。「豊嶋」はいつから「豊島」になったのですか?!」「何で「西が丘」の「が」は平仮名なのでしょうか?」「稲付」と「稲附」、どちらが正しいのですか?!」内容はさまざまですが、かなり細かく、それでいて返答するのがかなり難しいです。そこで今回から2回にわけて、北区の地名表記に関する話を雑談的に紹介していきます。

地名表記に関して何をもって「正しい」とするのかは非常に難しい問題で、例えば、江戸時代の場合、田端村は「田畑村」とも書き、赤羽根村も今と同じように「赤羽村」と記されていることもありましたが、「賀仁和村（神谷村）」や「重畳村（十条村）」など、異なった表記を挙げればきりがありません。それでも、私たちが北区の歴史を語る際に「田端村」「赤羽根村」と記しているのには、実はちゃんとした理由があります。それは、『しんぺんむさしふどきこう新編武蔵風土記稿』（以下、『風土記稿』と略します）という江戸幕府自身が編纂した地誌の存在です。この『風土記稿』が一応の幕府の公式見解であると理解できることから、実際にどんな表記がなされている事例があらうと、『風土記稿』にはこう書いてありますという説明が成り立つのです。

これを明治以降で同じように考えてみると、実はこの準拠すべき資料の存在がよくわからないのです。例えば、古い地図にも地名は記されていますが、これは役所で作成した正式な文書ではありません。そして実際に地図ごとでさまざまな表記方法になっていたりします。では、当時の役所で作成した文書では?と思われるかもしれませんが、北区の場合、戦前の文書は非常に少なく、それでいて実は役所内部でも表記の統一を図っていたとは思えないほど様々な表記で住所等を記しているのです。そうなんです、どういう表記が「正しい」と聞かれても、これにはこう書いてある、これにはこう書いてあると列挙することはできても、どれが「正しい」のか?と聞かれれば、「さあ〜?」と答えるしかないのが現状なのです。

このように考えた場合、実際に各自治体で地名の表記方法について本格的に取り組み実行したのは昭和 37 年（1962）5 月に施行された「住居表示に関する法律」の影響が最初なのかもしれません。この法律および北区への影響については、また次号で。



北区の部屋では「大日本地誌大系」の一環として発行された（昭和 4 年刊の復刻）22 cm サイズを所蔵しています。

【北区の部屋・地域資料専門員 保垣 孝幸】

■ 北区の部屋 今月の展示 ■

北区の歳時記～志茂熊野神社の「白酒祭り」
しろざけ

期間：1月28日（金）～2月23日（水）

北区志茂の熊野神社では、毎年2月7日に白酒祭りがおこなわれ、祭りの日には、「鬼」と書かれた1.8mもの的を射る「オビシャ」という珍しい神事が行われます。今回の展示では、指定民俗文化財にもなっているこの北区の冬の風物詩を紹介します。



■ 今月の講演会 ■

北区図書館区民の会企画運営講演会

「北区で醤油をつくっていた頃」

～戦前期、北豊島郡の醤油醸造業～

日時：2月26日（土）午後2時～4時

講師：日本近代史研究家 渡邊嘉之氏

会場：中央図書館・3階ホール

定員：50名

申込：往復はがきで2/10（木）必着
（講座名、郵便番号、住所、氏名、年齢、
電話番号を記入し下記へご送付ください）
くわしくは、北区ニュース1/20号をご覧
頂るか、下記までお問い合わせください。

■ 北区立中央図書館事業係

〒114-0033 北区十条台1-2-5

TEL 03-5993-1125

北区の部屋コレクション 古地図

明治時代から現在までの、北区の様子わかるさまざまな地図を所蔵しています。

例えば「火災保険特殊地図」（S26～28作成）は保険料算定のため、製図会社が現地調査し地図を作成、保険会社に納めていたもの。市街地が主ですが、住宅地図のはしりともいえる地図です。

（地図の一部は閉架保管のため、ご覧になりたい場合は北区の部屋に事前にご連絡ください。）



新着地域資料案内

タイトル	著者・出版社
決算特別委員会会議録 平成22年（閲覧のみ）	北区議会事務局
北区財政の現況と課題 平成22年12月	北区政策経営部財政課
北区の教育 平成22年度版	北区教育委員会教育政策課
街から 第109号（2010年12・1月号）	街から舎
東京大空襲米軍撮影空中写真（閲覧のみ）	工藤洋三・日本地図センター
ぶらり江戸めぐり3	毎日新聞社
山口直養・直毅日記 幕末旗本の記録	東京都公文書館
東京人 2011年2月号 特集：リノベーションとシェアハウス ～東京の新しい住まい方～	都市出版

北区の部屋だより

2011年3月

第20号



刊行物登録番号 22-2-001

編集発行：北区立中央図書館「北区の部屋」〒114-0033 北区十条台 1-2-5 TEL03-5993-1125 平成 23 年 3 月発行

北区こぼれ話 第19回

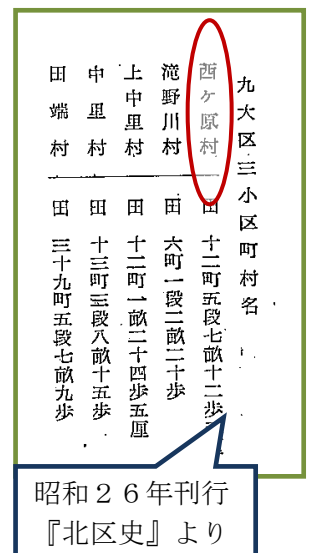
「地名」の雑学その2

前号に引き続き地名表記の話です。前号では、行政がどういった表記を正式に採用していたか知ることが困難だと紹介しましたが、「豊嶋」はいつから「豊島」になったかなど、一定の見通しを示すことができる場合もあります。「嶋」の字が「島」へと表記の統一が図られるのは、1946年に制定された「当用漢字表」の影響だと思われます。この「当用漢字表」により、これまで様々な字体をもって使用してきた漢字について当用漢字表の字体をもって表記することが定められました。したがって、これ以後「豊嶋」と記しているものがあっても、正式には「豊島」と表記するようになったと理解できるのです。

逆に全く見通しが立たないのが「西ヶ原」のような地名です。右の写真は「住居表示に関する法律」以前、昭和26年に北区が刊行した『北区史』で用いられている「西ヶ原」の表記です。「ヶ」の字が小さく、一見すると「西ヶ原」と記しているように見えますが、実はこれは活字のマジックで「ヶ」は「西」や「原」と同じ大きさの活字を使っているのです。本の編集や出版に携わったことがある方はご存知かもしれませんが活版の場合、同じ大きさの活字を用いると片仮名は文字が小さくなってしまいます。すなわち、「ヶ」の字が小さいのは活版印刷上の技術的な問題で、使用する側の意識としては「西」も「ヶ」も「原」も同じ大きさの活字を用いていると理解できるのです。それでは、同じ時期に作成された手書きの行政文書ではどうかと見てみると、「西」や「原」と同じ大きさに「ヶ」を記しているものも確認できますが、明らかに「ヶ」を小さく書いているものも散見されます（そもそも、字の大きい小さいは感覚的な問題で、人それぞれ個人差があると思います）。同様に「桐ヶ丘」の「ヶ」の大小も、活版印刷上の問題なのか、行政としての明確な意識の反映なのかが判然としません。

そこで昭和37年（1962）5月に施行された「住居表示に関する法律」ということになるのです。この法律は、住居表示の原則を定め、町域を合理化しようとしたもので、これをうけて北区でも昭和30年代から50年代にかけて段階的に住居表示を実施し、地名表記の方法が統一されました。以後、これが区としての正式な地名表記になりますが、この法律の第5条2項には「名称は、できるだけ従来の名称に準拠して定め」、「できるだけ読みやすく、かつ、簡明なものにしなければならない」とあります。この段階でこれまで曖昧に用いられてきた「ヶ」や「ヶ」を正式に「ヶ」と定めたのでしょう。逆に言えば、それ以前では、「正式な」表記方法というものを意識していなかったとも思うのですが……。

いかがでしょうか？



今月の展示

平成23年2月25日（金）～3月30日（水）
文化財指定記念展示 「高木助一郎日記」入門

このほど、北区立中央図書館が所蔵する「高木助一郎日記」が、北区指定有形文化財（古文書）になりました。明治以降に書かれた文書だけで構成された文書群に対して、北区としては初めての指定です。

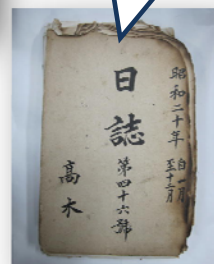
この日記は、中十条に住んでいた高木助一郎さんが、明治41年（1908）から昭和22年（1947）まで約40年にわたって書き続けたものです。そこには、王子・十条周辺の年中行事・政治的問題・社会的事件など、様々なことが記してあります。北区の近代史・現代史を研究するためには、第一級の史料と言えるでしょう。

今回の展示では、この日記の紹介とともに、内容の一部をご覧ください。



明治43年（1910）
桃の節句の日記

昭和20年
（1945）
4月14日
未明の空襲
により一部
が焼けた日
記



お知らせ

図書館活動区民の会地域資料部会
「北区の歴史を学ぶ会」

図書館活動区民の会地域資料部会では北区に関する地域資料、特に歴史資料の保存や活用について様々な取り組みを行っています。地域資料を考える上で、まずは北区の歴史を学ぼう！と開催されているのが「北区の歴史を学ぶ会」です。

ご興味のある方はどなたでも参加できます。ぜひ、一度見に来て下さいね！

毎月第4火曜日 午後2時～4時 開催
（月によって変更になる場合があります。）

場所：中央図書館 3階区民活動コーナー
テキスト：「北区の歴史 付録かわら版北区史」
（当日資料配布しています）

3月の開催は3/22（火）午後2時～
内容：滝野川区と王子区の成立～戦時下の八年間
毎回、学習するテーマは変わりますので、これまで参加したことがない方でも大丈夫です！

お問い合わせは 03-5993-1125
中央図書館 事業係まで

新着地域資料図書紹介（ここに紹介しているのは一部です）

タイトル	著者	発行
TOKYO 北区時間 2011 このまちを満喫せよ	東京商工会議所北支部セレクション推進委員会ほか編	東京商工会議所北支部
弦哲也 北区の演歌座（DVD） いい顔＊きたくNo. 74	北区政策経営部広報課編	北区政策経営部広報課
それぞれの東京 昭和の町に生きた作家たち	川本三郎著	淡交社
山手線一周グルメ 散歩の達人テーマ版MOOK		交通新聞社
はるが教える東京パワースポット厳選50	はる著	祥伝社

中央図書館
「北区の部屋」では、
北区の歴史に
関わる資料を
探しています！

皆さんのお宅に、北区に関わる古い写真や地図・文書などは眠っていませんか？ 中央図書館「北区の部屋」では、このような資料を地域資料として収集しています。江戸・明治期だけでなく、大正・昭和の資料も地域を知るための大変貴重な資料となりますので、ぜひご一報ください。